

CONTENTS

表紙	敬愛フェスティバル第2回ホームカミングデー 同時開催 校友会報第26号の発刊にあたって(校友会長 橋本勇市)
P 2,3	三幣利夫 新学長メッセージ 敬愛大学AO入試における校友会推薦の特典について
P 4,5	VOICE Keiai エキスポご利用案内
P 6,7	平成24年度 敬愛大学校友会定期総会について 思い出コーナー 中山幸夫 教授
裏表紙	CAMPUS NOW (学)千葉敬愛学園 敬愛大学 収支決算

また、お会いしましたね。『**繫逢**』

敬愛フェスティバル2012

11/10 お笑いライブ
 BanBan歌おう! 10名までがうたえ
 ギネス世界記録にチャレンジ
 ジェフィがやって来た!
 JEF UNITED

11/11 けいあい実験教室
 ピンゴ大会
 レーザービームショー
 マーくんファミリーがやって来る!
 Marines

敬愛大学 経済学部・国際学部
 〒263-8588 千葉市稲毛区穴川1-5-21 (稲毛キャンパス)
 TEL 043(252)3619 http://www.u-keiai.ac.jp/



平成**24**年度

敬愛フェスティバル

11月10日(土)11月11日(日)開催
 「第2回ホームカミングデー」同時開催

日程:平成24年11月10・11日
 「敬愛フェスティバル」開催中
 集合場所:校友会テント

ーホームカミングデー(HCD)とはー
 ホームカミングデーとは、本学を卒業した校友会の会員の方々が学部学科を超えて母校に集い、会員相互の親睦を目的とし幅広い分野での情報交換等を通して母校の発展につなげようというものです。

今年のテーマは「繫逢」。敬愛フェスティバルに関わる多くの人々との出逢いに感謝し、しっかり繋ぎとめる…という願いを込めて決定しました。スタッフは総勢202名と過去最大の人数が集結し、一丸となって最高のものを作り上げています。ぜひ、当日はご家族やご友人揃ってご来場ください。楽しい企画をたくさん用意して皆様との出逢いを心より楽しみにしております。

そして今年も「ホームカミングデー」を開催いたします。是非、足を運んでいただき学生達と関わり「あの頃」に戻っていただけたらと思います。

GREETING 会長挨拶



第24代 校友会長
橋本 勇市

校友会報第26号の
発刊にあたって

会員の皆様には日頃から校友会活動にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

敬愛大学は平成25年度から、経済学部経営学科が新設されることになりました。経営学教育に大幅なカリキュラムの改定を行い、社会が求める企業人の養成に力を入れるという母校の教育に今後、大いに期待するところであります。

また、経営学科の新設にご尽力された教職員の方々に敬意を表します。

体育会活動につきましては野球部の1部リーグ昇格や女子バレーボール部の関東大学女子リーグ戦全勝による9部昇格、少林寺拳法部の県大会団体2位入賞と華々しい活躍を耳にしますと母校への誇らしい思いでいっぱいです。

今後校友会といたしましては、母校の様々な取り組みや頑張っている学生達の力強い後ろ盾となるよう活動していく所存です。会員の皆様にはご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

新学長メッセージ



就任のご挨拶と校友会へのお願

学 長 三 幣 利 夫

校友会の皆さまには、平素より大学の教育活動に対し様々なご後援を賜り、感謝申し上げます。私は、40年以上に亘る民間会社での勤務を経て、昨年4月に国際学部教授となり、この6月から学長に就任いたしました。教育分野では全くの新参となりますが、民間企業での勤務経験を活かしながら、厳しい環境の中で伝統ある敬愛大学の発展のために最善を尽くす所存です。



大学は、建学の精神に基づき教育を長年実施してきたものの、特色ある千葉の私学として教育活動を充実させながら社会のニーズに対応し、こ

れからも継続して行かねばなりません。学生にとつて魅力ある大学とするためには、その特色を明確化して理解と支持を得て行くことが必要となります。

特色の第二は、建学の精神「敬天愛人」の実践であり、土井前学長が「敬天愛人講座」をカリキュラムの中に設置し人格教育を進めてきています

だから出来るきめ細かな手作りの教育を実行して行きます。

第二の特色は、就職に強いことです。文科



省に認可されたGP事業として、キャリアセンターによる1年次から始まるキャリア教育や、就活に対する強力なセンターの支援体制は他大学を凌駕していると自負しています。しかしながら、就職先を更に充実させ、就職率を上昇させるためには、校友会の諸先輩のご支援も有効です。後輩のための就職支援について、採用先のご紹介など、皆さまからの熱いご協



知人などに対し本学への受験推薦をお願い致したく、格別のご高配をお願い申し上げます。

力をお願い申し上げます。来春の新入生の募集は、新たに開設する経営学科を含めて2学部・各2学科体制で既に始まりました。オープンキャンパスの参加者は昨年までに比べて増加傾向にあるものの、敬愛大学の維持・発展のために、今年度は大幅な増員を達成すべく努めています。就きましては、本誌に掲載されている「校友会推薦」に基づいて、校友会の皆さまよりご親族及び友人・

敬愛大学AO入試における校友会推薦の特典について

18歳人口の急激な減少、長引く景気低迷により、多くの大学では次第に学生の確保が困難になってきており、全国の4割の私立大学で入学者が定員割れをするという事態が起こっています。最悪なケースとしては、廃校に追い込まれる大学も既に出てきています。

このような深刻な状況に、敬愛大学と校友会も強い危機感を抱いております。校友会では、母校敬愛大学の発展のために大学との連携を強化し、入学志願者の確保を目指し、敬愛大学AO入試において、校友会推薦制度を改正いたしました。内容につきましては右記をご参照ください。

会員の皆様方の身近に受験を控えている学生がいられ、もし「敬愛愛人」の素晴らしい建学の精神に貫かれた敬愛大学を志願されるようお勧めいただきたく、よろしくお願いいたします。

問い合わせ 入試広報センター

●敬愛大学……………☎043-284-2486

AO入試の志願に際しては優遇措置を確実に履行するため校友会員との続柄を入試事務室にお知らせ下さい。

1 主 旨

校友会推薦は、校友会員(準会員含む(1)のみ対象)が母校の教育理念を理解・継承させたい者について校友会の承認を得て志願させることができる制度である。

2 優遇措置

校友会推薦による合格者に対して次の優遇措置を実施する。

- (1) 校友会員の子息・子女、弟・妹および甥・姪に対しては**入学金を全額免除**する。
- (2) (1)に該当する者を除き、特に校友会員の推薦する者に対しては**入学金の半額を免除**する。

3 出願資格

校友会推薦によって出願できる者は、次に該当する者とする。

校友会員の子息・子女、弟・妹、甥・姪および**校友会員が推薦する者で、校友会が承認する者。**

4 手 続 き

校友会事務局に推薦用紙をご請求ください(校友会々員の署名・捺印が必要です)。

5 対象入試

AO入試の出願資格を有し、本学を専願とする者(詳細については入試広報センターへお問い合わせください)。

6 そ の 他

1名の校友会員がこの制度により志願させることができる者は、当該年度1名とする。

2013年度 経済学部・国際学部 入試日程

●AO入試

試験区分	受付期間	試験日	合格発表日
※4期	10/18(木)～10/31(水)	11/3(土)	11/7(水)
5期	11/13(火)～11/28(水)	12/1(土)	12/5(水)
※6期	2/1(金)～2/20(水)	2/22(金)	2/26(火)
7期	3/4(月)～3/18(月)	3/21(木)	3/21(木)

※「子ども学科」は(4-6期)のみ実施します。

●帰国生/社会人入試

試験区分	受付期間	試験日	合格発表日
帰国生・社会人1期	10/29(月)～11/12(月)	11/17(土)	11/22(木)
帰国生・社会人2期	1/10(木)～2/5(火)	2/9(土)	2/14(木)

●推薦入試

試験区分	出願期間	試験日	合格発表日
指定校推薦2期	11/13(火)～11/28(水)	12/1(土)	12/5(水)
公募推薦1期	10/18(木)～10/31(水)	11/3(土)	11/8(木)
	※10/18(木)～10/30(火)		
公募推薦2期	2/19(火)～3/8(金)	3/12(火)	3/14(木)
系列校推薦2期	2/19(火)～3/8(金)	3/12(火)	3/14(木)

※サテライト会場

●一般入試

試験区分	出願期間	試験日	合格発表日
1期	1/15(火)～1/30(水)	2/2(土)	2/7(木)
	※1/15(火)～1/29(火)		
2期	2/1(金)～2/20(水)	2/22(金)	2/26(火)
3期	2/21(木)～3/7(木)	3/12(火)	3/14(木)

※サテライト会場

校 友 会 推 薦 書	
敬愛大学校長	平成 年 月 日
敬愛大学校友会 会長 橋本 勇市	印
校友会員 (年度卒業)	印
氏名	
住所	
電話	
志願者との関係	
下記の者を、母校の教育理念を理解・継承させたい者として校友会が推薦いたします。	
記	
志願者	(男・女)
氏名	
生年月日	昭和・平成 年 月 日
住所	〒 -
電話	()
高等学校	高等学校 平成 年 月 (卒業・見込)

●編入学入試

試験区分	出願期間	試験日	合格発表日
編入学(協定校・系列)	11/13(火)～11/28(水)	12/1(土)	12/5(水)
編入学(一般)	1/10(木)～2/5(水)	2/9(土)	2/14(木)
編入学(科目等履修生)	2/21(木)～3/6(水)	3/8(金)	3/11(月)

●センター試験利用入試

試験区分	受付期間	試験日	合格発表日
1期	12/17(月)～2/4(月)	本学独自の試験は実施しません	2/13(水)
2期	2/5(火)～2/14(木)		2/26(火)
3期	2/15(金)～3/12(火)		3/15(金)
4期	3/13(水)～3/25(月)		3/26(火)

●センター試験利用・特待生入試

試験区分	受付期間	試験日	合格発表日
センター試験利用 特待生入試	2/5(火)～2/14(木)	2/22(金) (面接)	2/26(火)

●留学生入試

試験区分	受付期間	試験日	合格発表日
留学生指定校推薦 留学生一般1期	10/29(月)～11/12(月)	11/17(土)	11/22(木)
留学生指定校推薦 留学生一般2期	1/10(月)～2/5(火)	2/9(土)	2/14(木)

職場のゴルフ場まで、 ホールインワン狙いに 来てください。



経済学部

昭和60年度卒業
鈴木 隆

大学時代という真っ先に思い浮かぶのが、旧校舎の学食。そして、そこに集まっていた仲間たちのことです。

仲の良い友人たちと、朝、学校に着いたらまず学食に直行し、その日、授業に出るか出ないかを相談(笑)。4人集まればそのまま麻雀に行っちゃうことも少なからず...という毎日。

そのメンバーで山内先生のゼミをとっていたんですが、1年の時に行った山中湖のゼミ合宿は、本当に楽しくて最高でした。

騒がしいメンツだったため隔離されたのか?(笑)、自分たちだけ宿の本館ではなく、離れの方へ。それを良いことに2泊3日はしゃぎまくり、挙句の果てには備品を壊したり、ボートに乗った時は、いきなり服を脱いでみんなで山中湖に飛び込みパンツ丁で泳いだり。無茶し

たことも良い思い出です。

現在の私はというと、千葉県いすみ市にある「ABCゴルフ」で支配人をしており、毎日良い空気を吸いながら健康で仕事を続けています。このショートコースは、日本1ホールインワンの出るコースとして、今年、フジテレビの「ほこ×たてー矛盾ー」という番組でも紹介されたんですよ。

校友会員の皆さんも、機会があったらぜひホールインワンを狙いに来てください!



空手道に励みつつ、 思いきり楽しめた 4年間。



経済学部

昭和60年度卒業
永嶋 俊之

父親が空手道場をやっていたことから、私は小学校の頃から空手を始め、高校時代には県の国体強化選手に選ばれました。

その時の強化練習で、敬愛OBであり、国体優勝経験もある太田英喜監督と出会い、選手としても人としても素晴らしい太田監督に憧れ、敬愛への進学を決めたんです。

太田監督は稽古の時にはもちろん厳しいんですが、それ以外の時はものすごくくだけた面白い人で、いつも冗談の連発。先輩たちも、すごく気さくで良い方ばかり。

大学1年の時は全国大会で準優勝し、大学2年の夏休みには単身アメリカに渡り世界大会にも出場。空手の面でも充実し、先生、先輩、友人に恵まれて、本当に楽しい4年間を過ごすことがで

きました。

現在、私は千葉県土地開発公社に勤務しながら空手を続け、父から継いだ道場を守っています。

上の女の子は18歳になりますが、そのずっと下にまだ3歳の双子の男の子がいるんですよ。毎日大変ですが、下の二人が空手を始める日を夢見ています。



子どもたちの笑顔と 成長が私の宝物。



国際学部

平成22年度卒業
秋山 知世

小さい頃から小学校の先生になることが私の夢。そのために進学した敬愛大学で、特に良かったのが学習ボランティアの体験です。

当時の国際学部は物井キャンパスにあり、すぐ近くの山王小学校で3年生のクラスのお手伝いをさせていたんですが、子どもたちがすぐに馴染んで慕ってくれて、すごく可愛かったです。

バイトもサークルも、教師になるために役立つことをと考え、4年間ずっと続けたスイミングスクールでのバイトは、子供と触れ合いながら泳ぎを覚えるため。軽音楽部に入部したのは、ピアノを練習するためだったんですが、予定どおりにいかず結局ドラム担当となり、フェスティバルで演奏したことも良い思い出です。

そして、社会人2年目となった今は、旭市の小学校で3年生の担任をして

います。

最近、コンパスを使う授業をしたんですが、子どもたちがコンパスを使って上手に円を描けるようになると、それだけでとても嬉しいんですよ。

これからも子供たちが元気な笑顔で小学校生活を楽しめるよう、頑張っていきます。

VOICE Keiai

本大学卒業生の近況や思い出を掲載するコーナーです。編集部では会員の皆様のお便りをお待ちしております。どんなささいな事でもかまいません。会報編集室までお送りください。

◎原稿郵送先

〒263-8588 千葉市稲毛区穴川1-5-21

敬愛大学校友会事務局まで

敬愛大学ホームページ <http://www.u-keiai.ac.jp>

校友会 e-mail koukai@u-keiai.ac.jp

OB&OG
情報

お便り
お待ちしております！

エキシブホームページ
<http://www.resorttrust.co.jp>

充実の
福利厚生 会員制リゾート施設 ご利用ください

予約受付

敬愛大学ホームページより
お申込み下さい。

敬愛大学

検索

卒業生の方へ

校友会の方へ

エキシブ会員権利用について

エキシブ宿泊の申込みはこちら

➡エキシブ予約申込みフォーム

必要事項をご記入の上お申し込み下さい

軽井沢サンクチュアリーヴィラ



初島



白浜アネックス



山中湖



蓼科



浜名湖



琵琶湖



鳴門



校友会は、会員制リゾートクラブを運営するリゾートトラスト株式会社と提携し、福利厚生施設を保有しております。

これにより校友会員の皆様には、高級リゾートアイランドとして有名な『エキシブ軽井沢サンクチュアリーヴィラ及び初島クラブ』など会員制リゾートホテルをリーズナブルな料金でご利用いただけます。

校友会事務局では皆様からのお問い合わせや、予約の対応に当たっています。また、校友会のホームページで、利用できるホテルについての情報や、予約状況の確認ができるようになりました。校友会員であればどなたでもご利用いただけます。家族で、お友だち同士で、カップルでぜひご利用ください。



リゾート の予約に ついて

リゾートトラストエキシブをご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

しかしながら、現在所有物件に対する宿泊日数を超過しており、宿泊予約が出来ない状況になっております。誠に勝手ながら、校友会員の皆様の施設利用権の公平を期するため、利用内規を作成しているところです。決定次第、校友会ホームページ「新着情報はこちら」へアップさせていただきますので、宜しくお願い致します。

第26回 敬愛大学校友会定期総会

平成24年6月17日(日)「ほていや」において第26回(平成24年度)敬愛大学校友会定期総会が開催されました。

司会の海老根 亀氏による「開会の辞」に始まり、橋本会長の挨拶が行われた後、千葉ロッテマリーンズのボックスシート購入の件、成績の期待される女子バレー部や野球部に対する今後の校友会としての支援について述べられました。

次に議長・書記の選出については、事務局一任という意見から議長に加瀬喜代治氏、書記に佐藤暁人氏が任命され、式次第にそって議事に入りました。

議事は、第1議案(平成23年度事業報告)及び第2議案(平成23年度会計報告)が関連しているもので、橋本会長・海老根会計から詳細に説明と報告があり審議した結果、両議案とも承認されました。



第3号議案については、海老根会計から会則変更の説明があり、慎重審議

の結果、承認された。

第4号議案

(事業計画(案)及び第5号議案(予算(案))については関連しているもので、一括審議する事になり、平成24年度事業計画(案)を橋本会長より説明がなされた。平成24年度予算(案)については、海老根会計から説明があり、慎重審議の結果、承認されました。



第6号議案、その他については特に審議事項に提案がありませんでした。以上、全ての議案が終了し、青山副会長より閉会の挨拶があり、11時55分に総会を終了した。

※今総会にて決定した事業計画については、下記のとおりです。

一平成25年度分の千葉ロッテマリーンズ年間ボックスシート(4指定席)購入。
二グランドエクスプレス会員券追加購入について、現在、初島グレードA、軽井

沢グレードSを保有しているが、宿泊希望者が多数いるため、グレードEを追加で購入。

三・敬愛大学「佐倉キャンパス」への寄贈(楨)の事業について、海老根一亀氏が校友会に寄贈し、そこから大学へ寄贈する。

四・大学行事参加(後援)大学・短大両学祭(フェスティバル)への参加。

五・ホームカミングデイを今年度も大学祭(11月上旬)と同日に実施する。
引き続き、12時05分より懇親会を開催、海老根副会長より挨拶を頂き懇親を深め14:30に終了いたしました。



思い出コーナー

「経営学科」新設のお知らせ

このたび文部科学省に所定の手続きを行い、平成25年4月から正式に「経営学科」をスタートさせることになりました。これにより、経済学部はこれまでの



経済学部長・教授
中山 幸夫

平成24年度 敬愛大学校友会予算

平成24年度 敬愛大学校友会 予算				
平成24年4月1日～平成25年3月31日				
収入の部				
項目	24年度予算(円)	23年度予算(円)	増減(円)	
前年度繰越金	3,533,000	1,479,706	1,853,294	
校友会費	10,690,000	12,660,000	-2,010,000	
繰入金(定額預金)	6,000,000	0	6,000,000	
貸与返還金	120,000	120,000	0	
雑収入(定額預金利息含む)	70,000	80,000	-10,000	
合 計	22,373,000	14,539,706	7,833,294	
支出の部				
項目	24年度予算(円)	23年度予算(円)	増減(円)	
定期給金(印刷費)	130,000	130,000	0	
(新設費)	580,000	620,000	-40,000	
(国庫金費)	300,000	250,000	50,000	
校友会報(印刷費)	600,000	600,000	0	
(新設費)	580,000	600,000	-20,000	
大学行事参加(後援費(大学教))	1,000,000	1,000,000	0	
卒業記念品	1,300,000	1,300,000	0	
役員会費	100,000	100,000	0	
事務局経費(通信費)	200,000	80,000	120,000	
(印刷費)	50,000	20,000	30,000	
(商品費)	800,000	100,000	700,000	
(国庫金・交通費)	200,000	150,000	50,000	
ホームページ訂正・更新費	500,000	500,000	0	
校友会名簿訂正・追加費	100,000	200,000	-100,000	
特別事業費(システム更新)	0	2,000,000	-2,000,000	
特別事業費(福利厚生事業)	15,000,000	2,100,000	12,900,000	
ホームページ制作費	300,000	0	300,000	
特別立金	0	4,000,000	-4,000,000	
支所設立準備費	500,000	500,000	0	
予備費	133,000	289,706	-156,701	
合 計	22,373,000	14,539,706	7,833,294	

平成23年度 敬愛大学校友会決算書

平成23年度 敬愛大学校友会決算

平成23年度 敬愛大学校友会決算				
収入の部				
項目	23年度決算(円)	23年度予算(円)	増減(円)	
前年度繰越金	1,870,706	1,879,706	-9,000	
校友会費	12,480,000	12,660,000	-180,000	
貸与返還金	40,000	120,000	-80,000	
雑収入(定額預金利息含む)	80,320	80,000	320	
合 計	14,580,026	14,539,706	40,320	
支出の部				
項目	23年度決算(円)	23年度予算(円)	増減(円)	
定期給金(印刷費)	121,800	130,000	-8,200	
(新設費)	539,854	620,000	-80,146	
(国庫金費)	257,796	250,000	7,796	
校友会報(印刷費)	568,573	600,000	-31,427	
(新設費)	530,880	600,000	-69,120	
大学行事参加(後援費(大学教))	1,000,000	1,000,000	0	
卒業記念品	996,000	1,300,000	-304,000	
役員会費(在学生との懇親会)	0	0	0	
役員会費	92,400	100,000	-7,600	
事務局経費(通信費)	126,143	80,000	46,143	
(印刷費)	0	20,000	-20,000	
(商品費)	9,496	100,000	-90,504	
(国庫金)	37,533	150,000	-112,467	
ホームページ訂正・更新費	493,590	500,000	-6,410	
校友会名簿訂正・追加費	0	200,000	-200,000	
特別事業費(システム更新)	0	2,000,000	-2,000,000	
特別事業費(福利厚生事業)	1,543,640	2,100,000	-156,360	
特別立金	4,000,000	4,000,000	0	
支所設立準備費	0	500,000	-500,000	
予備費	30,000	289,706	-259,706	
合 計	10,747,021	14,539,706	-3,792,685	

※次年度繰越金(収入14,289,000円-支出10,747,021円=3,541,979円)

会計監査: 諸帳簿を精査した結果、上記のとおり総額のとおりと認めます。

平成24年5月11日

会計監査 坂井 隆

会計監査 中村 英

CAMPUS NOW

今年は体育会活動が熱い。シーズン中は大変な盛り上がりとなりました。

野球部が春季リーグ戦2部優勝により念願の1部復帰を果たし、1部リーグでの今季の結果は5位と健闘。女子バレーボール部は関東大学リーグ戦を全勝で勝ち抜き10部に昇格。10部においても全勝という素晴らしい成績を収めた。また少林寺拳法部も千葉県大会団体2位入賞と見事な活躍でした。後日、合同祝勝会が開催され、多くの教職員の方々がお祝いに駆けつけてくださいました。また、校友会からも女子バレーボール部に横幕を寄贈させていただきました。

野球部 2部優勝! 1部リーグで活躍中!

女子バレーボール部 10部優勝!

少林寺拳法部 千葉県大会団体2位



女子バレーボール部へ横幕を寄贈

経済学科と「経営学科」の2学科体制に移行します。振り返りますと、昭和41年（一九六六）の大学開設以来、47年の長きにわたり1学科体制の下で学部運営を行ってきましたが、ようやく積年の思いが実を結ぶこととなり、関係者の一人として感慨深いものがあります。

新たに設置される「経営学科」は、地元千葉県の企業で活躍できる地域密着型の人材や、急速に成長するアジア市場で活躍できる人材の養成を主要な目的としています。そのため、経営学に関する知識と実務を学ぶだけでなく、企業現場を実際に体験する実習教育（インターンシップ）を必修科目とするなど、より実践的なアプローチを通して学生の皆さんが未来を拓くための学びを用意します。入学後1年間は経済学部生として一体的な学習をしたのち、2年次から経済学科と経営学科に分かれる「2年次学科選択制」を導入しました。そして、グローバルとローカルという2つの地域的視点を背景として、それぞれの企業で活躍できる人材の養成を3コース（①アジアビジネスコース、②企業経営・会計コース、③スポーツビジネスコース）に分けて行うことになっています。

ご存知のように、大学を取り巻く状況は年々厳しさを増しており、とりわけ18歳人口が一気に激減する「二〇一八年問題」は今後の大学経営にとって深刻な現象であることは間違いありません。大学および学園の安定的経営に寄与するためにも、この問題を真摯に見据え、今後の学部運営に当たって参りたいと思います。

校友会の皆様には、新たにスタートする「経営学科」につきまして格別のご理解とご支援をお願い申し上げます。

学校法人千葉敬愛学園・敬愛大学 収支決算

敬愛大学は、学校法人千葉敬愛学園が設置している学校の一つですが、私立学校法の改正により学校法人会計基準に基づいて作成された財務書類を開示することが義務付けられました。

平成23年度の学園全体の決算報告と敬愛大学の決算報告の概要、及び平成24年度の学園全体の予算書と敬愛大学の予算書の概要を掲載いたしますので、ご覧いただきたいと存じます。

《平成 23年度 学校法人千葉敬愛学園決算報告》

資金収支計算書 平成23年4月1日から平成24年3月31日まで (単位 百万円)			
支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
人件費支出	3,553	学生生徒等納付金収入	3,380
教育研究経費支出	1,016	手数料収入	91
管理経費支出	192	寄付金収入	36
借入金等利息支出	64	補助金収入	1,202
借入金等返済支出	250	資産運用収入	44
施設関係支出	14	資産売却収入	661
設備関係支出	80	事業収入	33
資産運用支出	660	雑収入	313
その他の支出	387	前受金収入	1,440
〔予備費〕		その他の収入	398
資金支出調整勘定	△ 450	資金収入調整勘定	△ 1,712
次年度繰越支払資金	2,583	前年度繰越支払資金	2,463
支出の部合計	8,349	収入の部合計	8,349

消費収支計算書 平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
人件費	3,354	学生生徒等納付金	3,380
教育研究経費	1,548	手数料	91
管理経費	208	寄付金	49
借入金等利息	64	補助金	1,202
資産処分差額	4	資産運用収入	44
徴収不能額	0	資産売却差額	1
徴収不能引当金繰入額	51	事業収入	33
		雑収入	99
消費支出の部合計	5,229	帰属収入合計	4,899
当年度消費支出超過額	622	基本金組入額合計	△ 292
前年度繰越消費支出超過額	5,692	消費収入の部合計	4,607
基本金取崩額	0	帰属収支差額	△ 330
翌年度繰越消費支出超過額	6,314	消費収支差額	△ 622

貸借対照表 平成24年3月31日

資産の部		負債・基本金・消費収支差額の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	15,171	固定負債	3,410
有形固定資産	13,402	流動負債	2,392
その他の固定資産	1,769	基本金	18,950
流動資産	3,267	消費収支差額	△ 6,314
資産の部合計	18,438	負債・基本金及び消費収支差額合計	18,438

【平成23年度決算の概要】

学校法人 千葉敬愛学園の平成23年度決算は、監事の監査及び公認会計士の監査を受け、平成24年5月24日(木)の理事会及び評議員会において審議の結果、別表の通り決定しました。

消費収支計算書を平成22年度決算と比較してみると、帰属収入が2億9,500万円減の48億9,900万円となっています。主な減少要因は、大学、高校の学生・生徒数減少により学生生徒納付金が2億1,100万円減少し、33億8,000万円となったことによりです。

一方、消費支出は、前年度比1億4,200万円減の52億2,900万円となっています。主な内訳として、人件費は、退職金関係を除くと人件費は前年度比6,500万円の減、教育研究経費は、旅費交通費、賃借料、支払報酬手数料等が減少しています。資産処分差額の400万円は、廃棄図書によるものです。徴収不能引当金繰入額は、前年度比500万円減の5,100万円です。対策としての経済的に修学困難な学生に対する授業料減免制度は一定の効果を上げていますが、中途退学者(含除籍)が依然として多い状況にあります。

基本金は、自己資金による取得資産、未払金、借入金返済額及び除却した資産を差し引いた2億9,200万円の組入れを行いました。

帰属収支差額は、前年度から1億5,300万円悪化し、3億3,000万円の支出超過、消費収支差額では、前年度から1億6,300万円悪化し、6億2,200万円の支出超過となっています。

平成23年度は、第4次中期経営計画(5か年)の2年目にあたり、財政健全化に向け、各部門において「教育の中身」の改善への取り組みを進めてきました。しかし、このような取り組みにもかかわらず、平成23年度では、大学、高校の学生・生徒数が大きく減少し、収支の改善をはかることができませんでした。

財政健全化に向け、学生・生徒の確保が最大の課題であると考えております。

《平成24年度 学校法人千葉敬愛学園予算書》

資金収支計算書 平成24年4月1日から平成25年3月31日まで (単位 百万円)			
支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
人件費支出	3,515	学生生徒等納付金収入	3,324
教育研究経費支出	1,069	手数料収入	93
管理経費支出	175	寄付金収入	33
借入金等利息支出	59	補助金収入	1,141
借入金等返済支出	250	資産運用収入	35
施設関係支出	10	資産売却収入	560
設備関係支出	29	事業収入	25
資産運用支出	731	雑収入	341
その他の支出	434	前受金収入	1,394
〔予備費〕		その他の収入	306
資金支出調整勘定	△ 430	資金収入調整勘定	△ 1,755
次年度繰越支払資金	2,238	前年度繰越支払資金	2,583
支出の部合計	8,080	収入の部合計	8,080

消費収支計算書 平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
人件費	3,300	学生生徒等納付金	3,324
教育研究経費	1,572	手数料	93
管理経費	189	寄付金	38
借入金等利息	59	補助金	1,141
資産処分差額	0	資産運用収入	35
徴収不能引当金繰入	48	資産売却差額	0
		事業収入	25
		雑収入	117
消費支出の部合計	5,168	帰属収入合計	4,773
当年度消費支出超過額	667	基本金組入額合計	△ 272
前年度繰越消費支出超過額	6,314	消費収入の部合計	4,501
翌年度繰越消費支出超過額	6,981	帰属収支差額	△ 395

《平成23年度 敬愛大学決算報告》

資金収支計算書 平成23年4月1日から平成24年3月31日まで (単位 百万円)			
支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
人件費支出	1,102	学生生徒等納付金収入	1,554
教育研究経費支出	568	手数料収入	22
管理経費支出	108	寄付金収入	9
借入金等利息支出	23	補助金収入	294
借入金等返済支出	75	資産運用収入	23
施設関係支出	2	資産売却収入	273
設備関係支出	60	事業収入	11
資産運用支出	273	雑収入	38
その他の支出	129	前受金収入	820
		その他の収入	99
資金支出調整勘定	△ 104	資金収入調整勘定	△ 844
次年度繰越支払資金	1,082	前年度繰越支払資金	1,019
支出の部合計	3,318	収入の部合計	3,318

※前年度繰越支払資金は平成23年度帰属収入按分により計上しています。

消費収支計算書 平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
人件費	1,101	学生生徒等納付金	1,554
教育研究経費	787	手数料	21
管理経費	115	寄付金	19
借入金等利息	23	補助金	294
資産処分差額	4	資産運用収入	23
徴収不能額	0	資産売却差額	0
徴収不能引当金繰入額	50	事業収入	11
		雑収入	28
消費支出の部合計	2,080	帰属収入合計	1,950
当年度消費支出超過額	226	基本金組入額合計	△ 96
前年度繰越消費収入超過額	2,216	消費収入の部合計	1,854
基本金取崩額	0	帰属収支差額	△ 130
翌年度繰越消費収入超過額	1,990	消費収支差額	△ 226

【平成23年度決算の概要】

平成24年5月24日(木) 大学2号館で理事会・評議員会が開催され、平成23年度決算及び平成24年度第1回補正予算が承認されました。

消費収支計算書を平成22年度決算と比較してみると、帰属収入が1億6,600万円減の19億5,000万円となっています。主な要因は、学生数の減少による学生生徒等納付金の減収です。一方、消費支出は20億8,000万円と前年度より3,000万円の減額となりました。主な要因は、人件費3,000万円減などです。

基本金は、自己資金による取得資産、未払金、借入金返済額及び除却した資産を差し引いた9,600万円の組入れを行いました。平成23年度決算での帰属収支差額は、1億3,000万円の支出超過となりました。

現在引き続き、「学生の集まる大学」を目指して、大学改革、学生募集の強化を進めているところです。

《平成24年度 敬愛大学予算書》

資金収支計算書 平成24年4月1日から平成25年3月31日まで (単位 百万円)			
支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
人件費支出	1,156	学生生徒等納付金収入	1,499
教育研究経費支出	605	手数料収入	22
管理経費支出	82	寄付金収入	11
借入金等利息支出	21	補助金収入	243
借入金等返済支出	75	資産運用収入	18
施設関係支出	0	資産売却収入	232
設備関係支出	10	事業収入	10
資産運用支出	298	雑収入	73
その他の支出	81	前受金収入	692
〔予備費〕		その他の収入	45
資金支出調整勘定	△ 96	資金収入調整勘定	△ 879
次年度繰越支払資金	753	前年度繰越支払資金	1,019
支出の部合計	2,985	収入の部合計	2,985

※前年度繰越支払資金は平成23年度帰属収入按分による計上しています。

消費収支計算書 平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
人件費	1,181	学生生徒等納付金	1,499
教育研究経費	811	手数料	22
管理経費	87	寄付金	14
借入金等利息	21	補助金	243
資産処分差額	0	資産運用収入	18
徴収不能引当金繰入	48	資産売却差額	0
		事業収入	10
		雑収入	76
消費支出の部合計	2,148	帰属収入合計	1,182
当年度消費支出超過額	266	基本金組入額合計	△ 81
前年度繰越消費収入超過額	1,990	消費収入の部合計	1,801
翌年度繰越消費収入超過額	1,724	帰属収支差額	△ 266

※学園の財務内容は学園ホームページでもご覧になることができます。(http://gakuen.u-keiai.ac.jp)